

第 1 問題

問 1	A	× (1点)	B	× (1点)	C	○ (1点)	D	○ (1点)
問 2	支援体制を含む基礎的環境整備の状況と教育上の合理的配慮を含む必要な支援の内容に関する状況							
	就学先となる学校や学びの場は固定的なものではなく、実際の就学先決定後も障害の状態等を踏まえ、転学や学びの場の変更が可能であり、柔軟なものであること (6点) 3点×2							

第 2 問題

ア	C (1点)	イ	D (1点)	ウ	A (1点)	エ	F (1点)
---	-----------	---	-----------	---	-----------	---	-----------

第 3 問題

問 1	ア	知的発達 (2点)	イ	話す (2点)	ウ	推論する (2点)	
問 2	教科学習において著しい遅れがある特定の教科等がないか						
	ノートや提出物、作品、宿題の取組状況、読み書きに関するチェックリスト等の活用 (6点) 3点×2						
問 3	B (1点)		C (1点)		E (1点)		

第 4 問題

問 1	ア	B (1点)	イ	G (1点)	ウ	H (1点)	エ	C (1点)
問 2	電子黒板や大型ディスプレイを活用し、教科書や資料等を拡大提示（視覚化）する							
	文字変換ソフト等を活用し、授業中の発話を視覚的に提示する (6点) 3点×2							
問 3	学習ソフトを活用し、抽象的な事柄を視覚的に理解できるようにする							
	デジタル絵カード等を活用し、発話による意思表示を代替する (6点) 3点×2							

第5問題

問 1	(1)	A (1点)	D (1点)	
	(2)	A (1点)	C (1点)	
	(3)	視覚障がい特別支援学校（盲学校） (2点)		
	(4)	B (1点)		
問 2	(1)	C (1点)		
	(2)	音がひずんで聞こえる (3点)		
	(3)	人工内耳 (3点)		
	(4)	幼いうちに適切な対応がなされないと、聴覚を活用する能力や言葉の発達に大きな影響が及ぶため (3点)		
		コミュニケーションや人間関係の形成にも支障をきたしたり、物事の理解や概念の形成など学習面にも困難が生じたりするなど発達の様々な側面に影響が及ぶため（3点）		

第6問題

問 1	ア	A (1 点)	イ	B (1 点)	ウ	C (1 点)	エ	E (1 点)	オ	F (1 点)
	カ	D (1 点)								
問 2	幼児児童生徒の障がいの状態等が変化する可能性があるため (3 点)									
問 3	A (1 点)		C (1 点)							
問 4	B (1 点)									

第7問題

問 1	ア	C (1点)	イ	B (1点)	ウ	E (1点)	エ	F (1点)
問 2	I C F (国際生活機能分類) (2点)							
問 3	児童生徒の障害の状態や特性及び心身の発達段階等に応じた指導内容や指導方法の工夫を検討する際の情報となるため (3点)							
問 4	保護者の同意を事前に得るなどの個人情報の適切な取扱いに十分留意することが必要であるため (3点)							

第8問題

問 1	ア	A (1点)	イ	F (1点)
問 2	D (1点)			
問 3	B (1点)		D (1点)	
問 4	生徒が実生活で見かける標識や表示を教材とすること (3点)			
	実際に標識や表示を探す活動を設定すること (3点)			